

福祉文教常任委員会協議会会議録	
1 開会日	平成24年2月8日 午前 9時00分 開会 午後 3時30分 閉会
2 場 所	議員控室
3 出席委員	竹内恵美子委員長 鈴木京子副委員長 二宮加寿子委員 三澤龍夫委員 吉川重雄委員 関 威國委員 渡辺順子委員
4 傍聴議員	奥津勝子議員 片野哲生議員 高橋富美子議員 高橋英俊議員 坂田よう子議員 清水弘子議員
5 説明員	中崎町長 二挺木首席理事 依田教育長 福島理事 松本生涯学習課長 山口図書館長 佐川郷土資料館長 大隅子ども育成課長 増尾子育て支援室長 佐宗主査 二挺木保険福祉課長 小島主幹 古畑副主幹 斉藤主査 波多野副主幹 小林主査 佐野スポーツ健康課長 瀬戸副主幹 久保田副主幹 吉田副技幹 山下主任主事
6 職務のため 出席した職員	局長 飯田 隆 書記 山口芳弘
7 協議等の事項	(1) 大磯町立図書館の設置、管理等に関する条例等の改正等について (2) サンキッズ大磯改築計画について (3) 第五期大磯町高齢者福祉計画・介護保険事業計画及び大磯町介護保険条例の一部改正について (4) 大磯町シルバー人材センターについて (5) 大磯町の障がい福祉について (6) 大磯町健康増進計画（案）について (7) その他 ・おあしす24健康おおいぞの実施状況について ・東海大学医学部附属大磯病院の産科再開について ・国府小学校プールの施設開放について
8 その他	一般傍聴 1名

(1) 大磯町立図書館の設置、管理等に関する条例等の改正等について

「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」の制定により、町条例の改正を行うことについて概要説明があった。

◎主な質疑

問. 町条例が変わることで何か影響があるのか、例を挙げて説明してほしい。

答. 図書館協議会委員も郷土資料館運営委員も法律から条例に変わっても、従来から入っていたので内容に変更ない。

(2) サンキッズ大磯改築計画について

「サンキッズ大磯」改築工事の計画変更があったことについて説明があった。

まちづくり条例に基づく説明会では、4階のペントハウスについては事業者は考え直すと回答している。

◎主な質疑

問. 大震災後であるがこの場所に建てていいのか、そのことを町は検討したのか。

答. 町内東部地区で適地を探したが無かった。しかし、サンキッズも必要ということで、県が示した津波の高さで2階建を3階建として、10分で屋上へ逃げることを考えた中で建替えを計画した。場所の検討をした選択である。

問. 補助金だが、2階建が3階建になれば普通は補助金が増えるはずだが、なぜ減ったのか。

答. 2階建の時は仮設を1188万円で考えていたが、3階建の計画では現在の園舎を使いながら工事していくので仮設費用がいらなくなったためである。

問. 津波の時どう避難させるのか。安全な所に10分以内に避難させることが必要と言われているが、どう考えているのか。

答. 避難場所を検討したが、大磯高校まで15分、大磯幼稚園まで30分かかる。10分以内に北側へは逃げられないので、屋上への避難を考え3階建を計画した。

問. 今の定員は何人か。定員は増えるのか。

答. 今90人（現在121人在籍）、定員は120人（園児一人当たりの面積では最大137人）になる。

問. 待機児童は何人いるか。

答. 町内は8名で、国府が6名、サンキッズが2名となる。

問. 総工費は幾らか。

答. 当初総工費 4 億 3,400 万円、補助基準額が 2 億 1,492 万 2 千円となり、事業者負担は 2 億 7,300 万円ほどである。今回仮設がなくなり変更で補助基準額は 2 億 184 万円となっている。

問. 図面に学童保育とあるが、そういう施設は小学校の近所が原則ではないか。

答. 学童保育はあくまで今の小学校の下でやるのがメインとなる。現時点で学童と書いてあるが、あくまで予定というか設計段階のものである。今後の学童の需要とかを考えながらやっていく話となる。

問. 1 月 21 日のまちづくり条例に基づく説明会で、町説明のフロー手続で混乱があった。これで終了としていいのか。

答. まちづくり条例の説明はその場で終了したと認識している。その場でエレベーターのことは回答している。ただ、保護者への説明は今後もやる必要はあると思う。

問. 高台として検討したのか。

答. 県の津波浸水予想図では浸水深の色付けがされていない。地盤 5.7m と建物 3 階で 11.15m、合計 16m 以上が確保できる。

問. 学童の補助金はあるのか。

答. 元の建物があり新設ではないので補助金はない。

問. どんな建築スケジュールになるのか。

答. 10 ページにもあるが平成 24 年 4 月から始めた場合、平成 25 年 7 月下旬完成で 15 カ月を見込んでいる。詳細スケジュールはわかり次第提出したい。

問. サンキッズ竹内理事長の言われている数字と違うが。

答. 総工費は 4 億 5 千万円と竹内理事長は話している。県町補助金は 1 億 5,000 万円で 3 億 1,000 万円ほどが事業者負担となる。学童の補助金はない。

問. 1 月 21 日のまちづくり条例の説明会の住民の不安、質問、意見などの声をこの場に出して欲しかった。学童のことは時期はまだ流動的らしいが学童を入れて大丈夫か、建てられるのか。

答. 2 月 3 日に提出され、公表するので説明会のことは都市計画課と調整して対応する。学童併設での建設は可能である。学童を除いても補助基準額上回るよう積算している。学童部分は自己負担となる。平成 26 年 4 月の完成予定だが、磯小での社協の委託がメインとなる。実施時期、詳細は詰めていない、将来的に学童が必要な時にできる状況を作っているということである。

(3) 第五期大磯町高齢者福祉計画・介護保険事業計画及び大磯町介護保険条例の一部改正について

パブコメ、策定委員会を経て計画案を作成した。

介護保険料の条例改正は3月議会に上程予定している。

第五期大磯町高齢者福祉計画・介護保険事業計画及び大磯町介護保険条例の一部改正について概要説明があった。

◎主な質疑

問. 12月一般質問で100床作っていくと言われたがどの程度か。

答. 住宅型有料老人ホームは前期は230床見込んだが、100床としたのは下段のサービス付高齢者住宅へ移行したためである。

問. ポイント制導入とは、どのようなことか。

答. 元気な高齢者、ボランティアに施設で手伝ってもらうもので、ポイントは自治体によっては金額、物になるものもある。しかし、限られた財源の中で物などではなく、お金をかけないことを考えたい。
年齢制限はない。

問. 98ページの介護保険料の改正表で一番該当するのが多いのはどこか。

答. 第3段階が新規設置で350人を見込んでいる。一番多いのは第7段階で2,340人を見込んでいる。

問. 83ページの第5期保険料各段階の該当人数は。

答. 第1段階83人、第2段階1,337人、第3段階351人、第4段階354人、第5段階1,967人、第6段階952人、第7段階2,338人、第8段階1,288人、第9段階363人、第10段階193人で合計9,229人である。

問. 今回は在宅介護の方向性が示されているが第5期から第6期にどの様につながっていくのか。

答. 24時間サービスの今後の課題であるが、今訪問看護ステーションの「りんどう」と協議しているが、人的、資金面で実施はできないと言われている。サービス付き高齢者住宅、認知症介護施設の整備が進めば需要が生じて参入可能となるのではないかと。24時間サービスだけでなく周りの施設やサービスを整備しないとできないので、次の第6期で整備を進めて行く。

問. 7.9%保険料が上がれば介護保険料はいくらになるのか、収支見込み、繰出金の見込みは。

答. 73ページにあるが24年から3年間で69億800万円かかる。79ページに法で決まった負担割合が示されており、65歳以上は21%とな

る。3年で給付費が10.12%上がるとそれに基づいて町の負担12.5%も決まってくる。

結論. この介護保険料の条例改正は、委員会において審査して結論を出すことになった。

(4) 大磯町シルバー人材センターについて

大磯町シルバー人材センターについて概要説明があった。

◎主な質疑

問. 資料3 ページに人件費等の補助とあるが誰の人件費か、高齢者のか事務局のか。根拠条例は。責任者は誰か、監督責任は町にあるのか。

答. 事務局の事務局長、理事長、臨時職員の人件費である。根拠は「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」である。当該法人の責任で行っていく。

問. 人件費が最初からないため事務局の人件費として補助金を出すような事業はおかしくないか。

答. 事務費10%ありきの話ではなく、法人として経営努力をしていかないといけない。法人化されれば、しっかりとした経理も必要で何の支援も受けずやるのが理想だが、現実問題として町や県が補助していかないと成り立っていかないが、10%ありきや補助金が権利としてあるものではない。町としては、実態を踏まえ援助していきたい。

問. 法人の定款、平成24年度事業計画書を出してもらいたい。

答. 定款は提供する。事業計画書は平成23年度はあるが、平成24年度はないので提出がされ次第提供する。

問. 理事長とか事務処理する人の報酬はいくらか。

答. 代表理事は月額5000円、事務局長は月額18万円、臨時職員はローテーションだが1人分で、時間数に応じて出す。

問. この議題を出す理由は何だったのか。補正予算でも補助金のことであれだけ言われたのにどう受け止めているのか、何も出なかった。町が本当に助成したいなら議会に理解させるようなものを揃えるべきである。

答. シルバー人材センターが平成23年9月に設立され、業務等を理解いただきたいということから今回案件を提出した。資料の不足等は資料提供させてもらう。

問. 会員からの苦情対応はどうするのか。人件費の数字を教えてください。

答. 町では事実確認がわからないのでセンターへ連絡して対応をしてもらう。発注者にも連絡をとる。人件費補助の数字は今後提出していく。

問. 労働基準法は関係ないということだが、例えば怪我をした場合はど

うなるのか。

答. 基本的にセンターの方で保険を掛けているので、何かあればそこから保険が出ることになっているが、資料がないので追って連絡する。

問. 請負代金のうち 10%を事務費で受けるとなっているが、例えば客から 1 万円もらったとすると、そのうち 1 千円を事務費としてそちらに回すのか、注文の 1 万円の総額に対して 1 千円プラスしてもらおうのか、どちらなのか。

答. 後者である。代金に 10%上乗せて請求を書く。

(委員長) : 話がかみ合わないので改めて出直して、言われた書類も揃えて質問に答えられるようにして、21 日の福祉文教常任委員会で介護保険の後に行うことにする。

(5) 大磯町の障がい福祉について

大磯町の障がい福祉について概要説明があった。

◎主な質疑

問. 県が精神障害者 1 級の医療費助成を 4 月からすると聞くが、町の負担は減るのか、シュミュレーションがわかるか。

答. 県は 1 級で対象は通院のみとしている。1 級で通院はほとんどいない。試算したが年間 15 万～20 万円程度補助が増えると思われる。

問. 町単独の医療費助成だが、近隣の二宮町、中井町はどうか。資料提供願いたい。

答. 二宮町は同じ。寒川町は精神の 2 級はない、身体は 3 級まで。葉山町は身体は 4 級なし、3 級は IQ50 以下重複が対象、精神 2 級はない。平塚市は精神 2 級なし、身体は 4 級で IQ40 以下重複が対象。資料提供はわかった。

問. 県の補助制度の対象者と対象外の人数。

答. 医療証は 1,222 人でそのうち県補助対象は 518 人、所得制限のある方は 35 人程度、65 歳以上の新規手帳取得者 94 人、重度障がい者は 465 人、精神 110 人。

問. 例えば、訪問入浴サービスで介護保険を優先して使うということだが、実際どう理解すればよいか。

答. 現在、利用者は 3 人。介護保険でもあるが国の指針では介護保険の方を優先して利用するようになっている。手帳取得時に相談してつなげている。

問. 聴覚障がい者の災害時などの対応は計画ではどうなっているのか。

答. パブコメや策定委員会でもいただいているので、ニーズを踏まえ計画に反映したい。

(6) 大磯町健康増進計画（案）について

大磯町健康増進計画（案）について概要説明があった。

パブコメは6人、25件の意見をいただいた。策定委員会を行い、今後修正して最終とする。

◎主な質疑

問. 「3033 運動」もっと進めてほしい。

答. 「3033 運動」は県民が1日30分週3回3ヵ月を継続して運動し、スポーツを習慣化する運動であり、町としても推進していく。

問. 運動不足解消にウォーキングは必要であると思うが、マップはどの程度か。

答. マップは作成中で、東3、西3、他に1で7コースを作り啓発していく。

問. こゆるぎ体操の普及の取組みは。

答. 研修を行っており、終わった方は所属グループで普及してほしい。4月から普及委員会を立上げて普及を図っていく。「おあしす24 健康おおいぞ」でも実施して行く。

(7) その他

- ・「おあしす24 健康おおいぞ」の実施状況について
- ・東海大学医学部附属大磯病院の産科再開について
- ・国府小学校プールの施設開放について

◎主な質疑

問. プールは以前は町外の利用者が多かった。今度は町内の人に限るといって閉鎖的になっていないか、町の考えを問う。

答. 対象は町民としているが、次年度以降も必要に応じて検証を行い柔軟に対応したい。

問. 今後、「おあしす24」のことで医師会の意見を聞くのか。

答. 平成24年度に向け2月15日に検討会を開催する。事前に医師会からは意見を聞く時間を設けたい。

問. 産科が町内になくて救急対応等で困ったケースはあるか。

答. 妊婦の救急搬送の数は把握していない。

問. プールだが大人料金はどうするのか。また駐車場がないと町内でも厳しいのではないか。近隣の迷惑も考えるべき。

答. 意見もいただいている。学校開放の一部と考えているので、今後説明して理解をもらうようにする。近隣にも駐車場で迷惑がかからないようにしていく。